

第 1 回 習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会 議事録

開催日時：平成 24 年 7 月 28 日（土曜） 午後 1 時 10 分から 3 時

場 所：サンロード 6 階 大会議室

出席者：委員 26 名 事務局 5 人 支援事業者 2 名

■議事内容等

1. 本会議の公開について

本会議を公開することを承諾

2. 委嘱状交付

市長から委員へ委嘱状の交付

3. 市長あいさつ

4. 委員自己紹介

5. 事務局紹介

6. 委員長及び副委員長選出

- ・委員より南委員を委員長として推薦があり、全員一致により委員長は南委員に決定する。
- ・事務局より田久保委員を副委員長として推薦があり、委員全員一致により副委員長は田久保委員に決定する。

7. 資料説明及び質疑応答

質 要綱の第 6 条 3 項において、「会議の議事は出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決とする」とあるが、出席委員に委員長は含まれるか。（委員）

回 出席委員には委員長は含まれない。同数の場合は委員長にて決する。（委員長）

質 資料の予算 60 億円に消防庁舎は含まれるか。（委員）

回 消防庁舎は含まれない。消防庁舎を含めた事業費は概算で 72 億円と公表している。（事務局）

質 人口推移について教えてほしい。（委員）

回 去年度の人口推計結果を次回提示する。（事務局）

質 市民協働や文化ホール・市民ホール等の文化施設、食堂棟についてどの程度考えられているか。（委員）

回 次回以降の検討内容として考えている。（事務局）

質 質問に対しての回答は次回の会議ではなく、事前に配布してほしい。また、次回以降の検討内容については、委員長から説明後グループ討論したほうがよいと考える。（委員）

回 基本的な質問事項に関しては、事務局に事前に配布するようお願いする。（委員長）

質 市民協働についての言葉の定義付けをしっかりとしてほしい。（委員）

質 アンケートの年齢比率で 20 代、30 代が少なく、実際の市の人口比率と異なっており、若い世代に対して、もう少し意見を聞く必要があるのではないか。（委員）

回 過去の経験上、無作為抽出でアンケートを実施した場合、高齢者の回答が多いのが一般的な傾向である。若い世代の意見については、別の方法、手法が考えられるのではないか。

(委員長)

質 アンケートの対象者は無作為抽出かそれとも年齢構成等を考慮しているのか。(委員)

回 年齢構成等を考慮したわけではなく、広報を見た方が回答する方法でアンケートを実施した。そのため、広報をよく見る高齢者の回答率が高くなったと考えられる。(事務局)

質 公共建築物の建て替えにあたり、財務(市の資産)、品質(防災拠点、自家発電等)、供給(1人あたりの執務スペース)について、資料等があれば教えてほしい。(委員)

回 財務については、資産合計で約5,770億円(内訳:公共資産、投資、流動資産の順)。どの程度の資料が必要かわかれば、資料の準備は可能である。品質(自家発電等)については、今後検討が必要と考えている。(事務局)

質 市民委員会が5回あるが、5回目には建物の形状、階数、外観等のことまで決定するか。(委員)

回 基本構想では、概念上の機能について検討することになる。機能をすべて入れた場合どの程度のボリュームになるかの話は出る可能性があるが、図面等の作成はしない。(委員長)

質 耐用年数(100年)と機能を考慮した計画とし、長い年月を経た後でもよかったと思われる建物にしたい。(委員)

回 税金で建設するものであるため、どんな時代でも対応できるような、できるだけフレキシブルな空間設計が必要であると考え。また、他の公共施設の機能についても本庁舎に加えることができるかも考える必要がある。市庁舎における17時以降や土日の活用方法についても議論の対象になるのではないか。(委員長)

質 今回の市民委員会は市民協働の第一歩であると考えている。(委員)

回 福祉の面では、民間サービス、NPO、その他のサービスも含めてできるだけ協働で考える方になっている。今後市庁舎についても議論していく機能については、設計に結びついていくのではないかと考えている。(委員長)

質 議場のあり方についても対面形式、討論形式、質問形式とあるわけで、なるべくフレキシブルに考えていきたい。(委員)

回 日本の議会のあり方は質問形式となるため、扇型の議場になることが前提になる。いくつかの議場では、議会がないときには、市民が利用できるように工夫された議会もある。(委員長)

8. 今後のスケジュールについて

質 グループ討論のグループ構成はどのように考えているか。(委員)

回 連合町会が16名入るため、4名ずつ4グループに分れてもらうように、所属ごとに平均して4グループに分かれてもらう予定である。(事務局)

質 防災や機能等テーマ別にグルーピングするか。(委員)

回 4グループ同じテーマで行うか、それぞれ興味のあるテーマで行うかについては、次回までにどのような方向で進めるかを協議したい。(委員長)

質 グループの意見等をまとめるのは容易ではないため、委員長以外の学識経験者が4名いるため、それぞれのグループに1人ずつお願いしたい。(委員)

回 事務局としても、学識経験者4名に各グループのファシリテータをお願いしたいと考えている。(事務局)